

大学院特別講義

(医 歯 学 先 端 研 究 特 論)(生 命 理 工 学 先 端 研 究 特 論)

(医 歯 理 工 先 端 研 究 特 論)

下記により大学院特別講義を行いますので多数ご来聴下さい。

記

1. 講 師 千葉大学大学院医学研究院 生殖機能病態学
教授 生水真紀夫 先生
2. 演 題 アロマターゼの進化：なぜ胎盤で発現したか？
3. 日 時 平成 2 4 年 5 月 1 8 日 (金)
1 8 時 0 0 分 ~ 2 0 時 0 0 分
4. 場 所 M & D タワー 2 階 共用講義室 1
5. 主 催 大学院・生殖機能協関学分野(周産・女性診療科)
6. 講演内容

ヒト胎盤は、エストロゲン合成酵素であるアロマターゼを高発現しており、大量のエストロゲンを妊娠中に合成分泌している。以前には、このエストロゲンが妊娠分娩に必須と考えられていたが、現在ではこの考えは否定されている。胎盤でのアロマターゼ発現は、進化のある時期にアロマターゼ遺伝子がその上流に胎盤型プロモーターを新たに獲得したことによる。では、なぜ、どのような機序で新たなプロモーターを獲得したのだろうか？最近のわれわれの研究から、このアロマターゼの進化が、より高等な霊長類への進化の前提になったことが明らかになってきた。